

連携機関ご紹介コーナー

interview



徳永医院

病院長 徳永 彰 Akira Tokunaga
(安芸高田市医師会長)

呉市医師会病院に勤務していたが、40歳の時に地元甲田町にて開院。医学博士。

趣味／スポーツ観戦・読書
[広大医学部時代に柔道(3段)、野球]
休日の過ごし方／散歩・サイクリング
モットー／精力善用・自他共栄、柔能剛制
リフレッシュ／旅行・釣り

連携について

急性期はJA吉田総合病院で、退院後は、在宅医療で治療や介護を受けられる事になります。(地域包括ケアシステム)その連携の橋わたし、受け皿としてお手伝いできればと思っています。

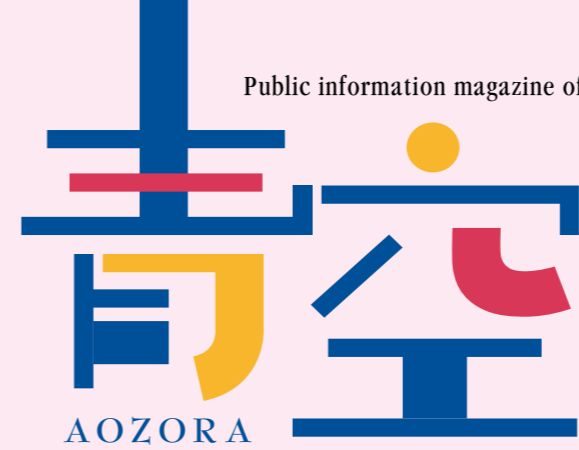
今後の地域について

農業は、栽培農業や或る程度の規模の米作農家でないと成り立たないことになり、若者が少なくなっております。今後も地域の存続のために、医療・介護で地域に貢献していきたいと思っております。



徳永医院

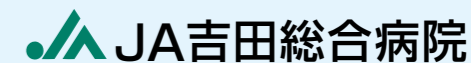
住 所 安芸高田市甲田町高田原1419-1
開 院 昭和60年9月
標榜科 内科・小児科・外科
有床診療所 19床
通所リハビリテーション 定員27名



やさしい心で
良質な医療を。

秋号

vol.47



発行/広島県厚生農業協同組合連合会 吉田総合病院
〒731-0595 広島県安芸高田市吉田町吉田3666
Tel.0826-42-0636 Fax.0826-47-0007
2015年(平成27年)10月発行
http://yoshida-gene-hospi.jp/

Facebookを開きました



笑顔で退院できるような 看護を目指して

看護部長
吉見 幸美



超少子高齢化が進む中、社会保障制度は、高齢者を支える仕組みの中心に、地域住民の方が重度な要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期の時まで出来るように、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を実現していこうとしています。

当院でも、医療情勢の変化の中、適切な医療・悪化させない看護・生活支援に向けた看護・多職種連携、入院時から退院後の生活を見据えた看護、意思決定の支援をめざし日々努力しております。



さて、私事でございますが、4月より看護部長に就任いたしました吉見幸美と申します。どうぞよろしくお願い致します。

私は、昭和58年にJA吉田総合病院に就職し32年間、内科病棟・外

科病棟・産婦人科・手術室・整形外科病棟と、精神科病棟を除く院内



のほとんどの病棟を経験し、入院された方々に看護する機会を頂きました。

入院された方に安心して療養して頂き、完治しても、障害を持つことになっても、前向きに生活できるように支え、笑顔で退院できるような看護を目標に日々業務に就いております。また、退院して頂くときは、本当にお疲れ様でしたと心から伝えることを常としており、看護科も、「地域の住民の方々に、真心のこもった質の高い看護を提供します」という理念を掲げています。

JA吉田総合病院では、昨年より急性期病棟でDPCを導入し、入院期間が短くなっています。地域の現状を見てみますと、高齢者・独居世帯の増加により、入院して退院後に自宅での生活が困難となるケースが増加しております。そこで12月から地域包括ケア病棟を稼働し始めました。急性期を脱した患者さんが、60日の間

でリハビリをし、在宅へ帰る準備を整える病棟です。看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士・医療ソーシャルワーカー(相談員)ら、多職種がそれぞれの分野から知恵を出し合い、患者さんの事を第一に考え、地域で自分らしい生活が送れるようにサポートしていきます。その為には、病院だけではなく地域の診療所、医師会訪問看護ステーション、介護施設、行政などと連携を取りながら、何処にいても同じようなケアを受けて頂けるように協力してまいります。

今後とも皆様方からのご支援とご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



認知症について語ろう!

第1回 安芸高田市在宅医療・介護連携推進事業 「多職種オープンカフェ」を開催しました

日時 9月10日(木) [18:00~20:00] 場所 JA吉田総合病院 大会議室

安芸高田市内の医療・介護・福祉に従事されている様々な職種の方、92名の方にご参加いただき開催いたしました。

「認知症について語ろう!」をテーマに、各テーブルに数人が分かれて議論するワールドカフェ方式で開催しました。認知症について、3つのテーマで各グループで意見を出し合い、様々な職種の生の意見を聴くことができました。

開催後のアンケートでは、「立場の違う職種の方の意見が聴けて認知症の地域における困難な部分が理解できた」「色々な職種の人と出会えて良かった」等のご意見をいただきました。今後も研修会を重ねることにより、人と人との繋がりがより強いものになることで、地域を守る在宅医療・介護連携を推進していきます。



INFORMATION

お知らせ

- 11月25日(水) JA広島北部健康相談会 可愛出張所 13:00~15:30
- 11月26日(木) 医療・介護連携研修会「食のことI」食事形態
- 12月12日(土) 市民公開講座
- 12月16日(水) JA広島北部健康相談会 八千代支店 13:00~15:30

退院支援委員会の紹介 6階病棟 金長 真由美

団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる2025年に向けて、入院患者の在宅療養移行支援、すなわち退院支援がますます重要となってきました。患者様が在宅療養の場で医療や看護が継続して提供されるために、看護師の担う役割は拡大しています。

退院支援委員会は退院支援が円滑にすすむよう発足され、今年2年目を迎えた委員会です。1年目は各病棟、外来から選出された委員で構成されていました

が、今年度より入退院支援看護師、ソーシャルワーカー、看護部副部長も加わり多職種が参加する委員会となりました。委員会の目標は

- 1.退院支援に関する知識の習得につとめる。
- 2.退院支援委員としての役割を明確にする。

とし、研修会に参加し知識を深め各部署で勉強会を行ったり、部署内でのコナースとして退院支援カンファレンスへの参加など行っています。また自病院や、自病棟のデータを把握するため、ソーシャル

ワーカーの協力を得て、退院支援計画書や介護支援連携指導料の算定件数、退院前カンファレンス件数など毎月把握するようにしています。

入院患者が地域での暮らしを再開するために、患者・家族の意向に沿いながら、在宅での療養が安定するための支援の中心的役割を担うよう、退院支援委員会は活動していきたいと思っています。

Questionnaire

患者満足度調査

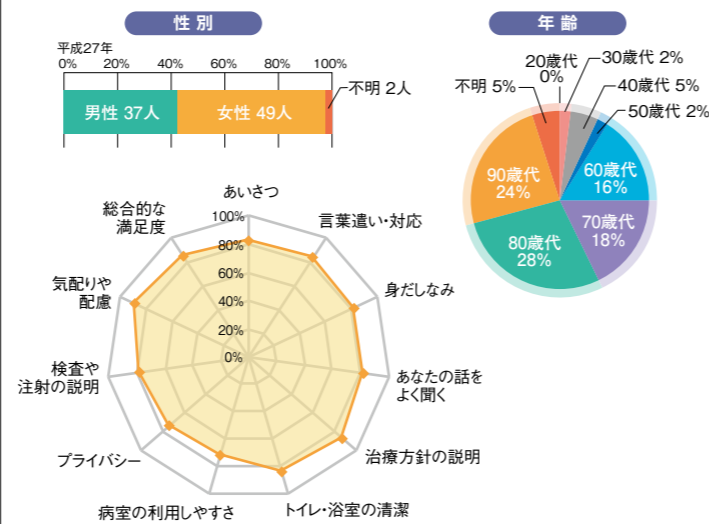
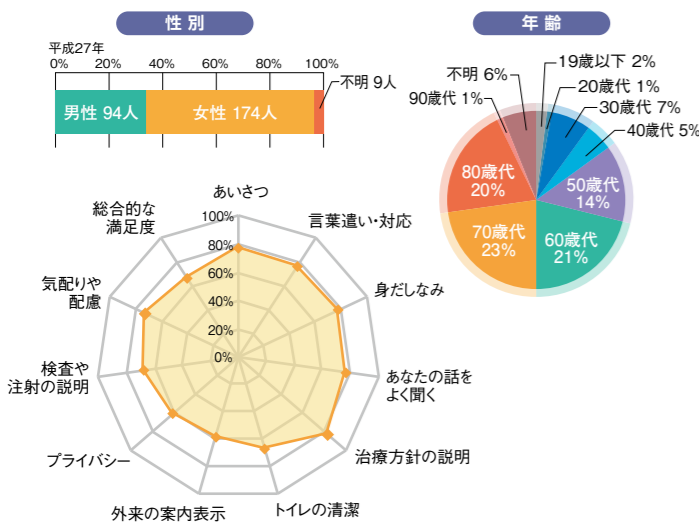


当院では毎年1回、外来患者さまと入院患者さまを対象に満足度調査を実施しております。今回も多数の患者様にご協力いただきました。ありがとうございました。

今後も業務の改善と患者サービス向上に努めて参りますので、お気づきの点がございましたら院内のご意見箱へお願いいたします。

外来 【調査期間】平成27年6月22・24・26日 【調査母数】277人

入院 【調査期間】平成27年6月 【調査母数】88人



患者満足度調査 患者さまからのご意見

接遇

- 【外来】**
- どの病院よりも挨拶が出来ている。
 - 会計時の呼出が聞き取りにくい。
 - 大変満足。今後とも一層の努力を望む。
- 【入院】**
- 初めての入院でしたが、皆さんの笑顔で挨拶してくださりありがとうございました。
 - 入院する人は心に傷を負っている。言葉遣いに気を付けてもらいたい。
 - 医師が良く話を聞いてくださって大変良かったです。

療養環境

- 【外来】**
- 駐車場が不足している。(8件)
 - 待ち時間の改善。(6件)
 - 院内表示を頭上だけでなく通路への表示もして欲しい。

- 【入院】**
- 何度もトイレに行ったので、自分のトイレがあつてよかったです。
 - トイレの開閉は自動扉を希望。障害者用トイレがフロアに2カ所は必要。
 - 患者の音が聞こえすぎる。

その他

- 先生が2年で代わられるので不満。
- 夜間救急に小児科が必要。
- 診察・会計をスムーズにして欲しい。

これからもいただいたご意見を参考にして、療養環境改善とサービス向上に日々努めて参ります。



職場体験学習を実施しました

AOZORA NEWS!

◀安芸高田市立吉田中学校2年生の皆さん

7月8日～14日(5日間)で中学生の職場体験学習を実施し、男子2人・女子4人の生徒さんが参加されました。

体験学習前から、生徒自身が病院に電話して打ち合わせの日程調整をし、体験内容について病院担当者と話し合いました。

初日に院内すべての科を回り、どの部署がどんな仕事をして、病院の中にいろいろな職種の人が協力して患者さんの病気を治すために力を出し合っていることを勉強しました。初日以降は、2グループに分かれ病棟・老人保健施設のぞみで、看護と介護の重要性とチームで力を合わせて病気を良くしていることを学びました。



5日間体験学習のあとの感想として、

「人と接する仕事の楽しさに触れ、人に接することで人の気持ちを考えることができた」、「病棟はのぞみより命と直接関わることが多いので一つ一つのことに本当に注意して行わなければならない」、「将来は病院で働くことも視野に入れています。これからたくさん勉強して吉田総合病院につとめたいです。人と接する楽しさを感じ、進路の事で悩んでいたことが少し考えられるようになりました」など多くの学びがありました。

今後とも学習の場としても吉田総合病院を活用していただければ幸いです。



「第18回病院祭・第26回のぞみ祭」を開催しました

10月3日(土)吉田総合病院において、「笑顔をつないで地域を支える」をサブテーマに、地域住民・職員みんなが笑顔になることで地域をみんなで支えていこうとの気運を高めることを目標に開催しました。

吉田中学校吹奏楽部の演奏で開幕し、院内各所で食塩濃度測定やキッズのナースに変身コーナー、介護食の試食等様々なイベントを行いました。



ステージでは、広島ジュニアマリンバアンサンブルの皆さんによる素晴らしい演奏とパフォーマ

ンス、原田こども神楽同好会による神楽の舞が熱演され笑顔の輪で包まれました。

屋外では、スタッフによる模擬店が開かれ、うどん・焼きそば等で笑顔が広がり、晴天にも恵まれ、入院患者や施設利用者をはじめ多くの地域住民の方々の笑顔で賑いました。

